



Matsunoyama Academy



Since2017

2024年7月8日発行

第4号

〒942-1406 新潟県十日町市松之山 1162 番地3 TEL025-596-2014 FAX596-2149

もうすぐ夏休み

副学園長 渡邊 進

「〇〇さんなんて大嫌い」、ある子どもが、泣きながら大きな声で言いました。クラスの子どもたちは、その様子を見て困った様子です。〇〇さんを思いやる心と泣いている子どもを心配する心が交差する瞬間でした。見かねた担任が、誰かを叱るということなく、三者（クラスの子どもたち、大嫌いと言われた子ども、泣いている子ども）に、それぞれ何やら声をかけました。一人ひとりの子どもの個性やその背景にあるものを察した言葉がけでした。やがて泣きながら大きな声で「〇〇さんなんて…」と言った子どもが、目に涙をためたまま、小さな声で誰にともなく「ごめんなさい」と言いました。クラスの子どもたちは、その言葉を受け入れ、その場の空気が温かくなったような気がしました。

学校は、子ども一人ひとりが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていく場所です。また、多様な個性や生き方、ハンディキャップなどにかかわらず、安心して生活できる「共生社会」の実現に向け、その土台を築いていく場所です。

もうすぐ1学期が終わろうとしています。子どもたちは、いろいろな出来事がありましたが、その都度、仲間や先生とその問題や課題を乗り越えようとしていました。良い結果にならなかったこともあろうかと思いますが、私たちは、結果より、その取組の過程を大切にしていきたいと思います。今学期を支えていただいた保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

夏休みは、子どもも、教職員も、しっかり休んでほしいと思います。大きな病気や事故に遭わないよう、地域の方の見守りの力も借りながら楽しい長期休みをお過ごしください。

地域の皆様へ 「グラウンド除草作業ご協力のお願い」

自然と人が共生できる社会と子どもたちの安全を目指し、除草剤に頼りすぎないグラウンドの除草・整備を、保護者有志で無理なく、楽しみながら行っています。

今後は、8/3 (土)・17 (土)、9/7 (土)・14 (土)、10/5 (土)・19 (土) 6:00～1時間程度実施予定です。趣旨にご賛同いただける方は、ぜひご参加をお願いします。

6月4日(火)～6日(木) 9年生修学旅行

大阪・京都方面で、あきんど体験を行い、旅行先の人々と交流したり、着付け体験から文化に触れたりする経験してきました。これらの学びから、自己の生き方を考えたり、郷土のこを見つめ直したりする機会となりました。

クラスメイトと3日間寝食を共にすることで、互いのことをより理解しようとしたり、思いやりをもってかかわったりすることができ、みんなの仲が今まで以上に深まりました。

今回の修学旅行で9年生の団結がより高まり、残りの学園生活では全校児童生徒をさらにリードする姿が期待できます。



6月4日(火) 5・6年生人権教室

人権擁護委員の方を講師にお招きし、5、6年生で人権教室を行いました。人権は、「誰もが生まれながらにもっている権利」という話から始まり些細なきっかけで起こってしまったトラブルやいじめ事案について一人一人考えました。「いじめはぜったいにいけない」ということを改めて学ぶ時間となりました。

また、6月17日(月)には、副学園長が全校朝会で一人一人の多様性を認めたり、大変な人や弱い立場の人の気持ちに寄り添ったりする内容で人権に関わる講話をしました。



6月6日(木) 在来種保護活動

緑の少年団の活動として毎年小学部で特定外来種であるオオキンケイギクを駆除する活動を毎年しています。継続して活動しているため、年々オオキンケイギクの数が増えています。

キョロロの大平学芸員さんから「在来種や外来種の生き物や植物」や「在来種を守るための活動」などについてお話をお聞きしました。児童から、「抜いてしまうのはかわいそう。なんで抜かなければいけないのですか。」という問いかけもありました。大平学芸員さんから在来種を保護するためと教わったのですが、その中で「人に言われたから駆除するのではなく、なんで駆除するのか自分で考えることも大切になります。正解は一つではないので、一人一人が自分なりに考えてみてください。」との言葉をいただきました。

緑の少年団の活動だけでなく、他の活動でもその意義を自分なりに考えられることを大切にしていきたいと思います。



6月11日(火) 避難訓練

地震を想定した避難訓練を行いました。各学級で、事前に訓練の意味を指導したり避難方法を確認したりしたのち、訓練に臨みました。訓練では、緊急地震速報の放送で防災頭巾をかぶり、机の下に待機。その後、グラウンド脇の駐車場に速やかに避難しました。一人一人が「おはしも(お=おさない、は=はしらない、し=しゃべらない、も=もどらない)」の行動がしっかりとでき安全に避難できていました。今後は、火災と不審者対応についての避難訓練を実施する予定です。



6月14日(金)フリー参観「わたしの主張」校内発表会

5年生から9年生が、国語の時間に日頃思っていることや、身近な出来事等から自分でテーマを決め、伝えたいことや提案したいことを深く考えたり、どのようにまとめたらいかが練り直したりしました。学級での発表会を経て14日に、代表者による「わたしの主張」校内発表会を行いました。自分の思いや考えを伝え合うとともに、仲間を理解する貴重な時間となりました。

クラス代表として、以下の児童生徒が発表しました。

5年 T・Kさん 「松之山の『自然』のすばらしさ」

6年 S・Tさん 「ぼくが疑問に思うこと」

6年 N・Mさん 「お米に対する私の考え」

7年 T・Tさん 「悔しさに負けない気持ち」

8年 S・Aさん 「レジリエンス」

9年 N・Aさん 「自分の趣味を誇りに」

審査の結果、小学部最優秀賞は、5年T・Kさん、中学部最優秀賞は、8年S・Aさんに決まりました。8年S・Aさんは、8月9日(金)に段十ろうで行われる、「わたしの主張 十日町・中魚沼地区大会」に学校代表として出場します。

松之山の「自然」のすばらしさ

五年 T・K

皆さんは、松之山の自然についてどう思いますか。わたしは、生き物がたくさんいて、生き物と人がいっしょにくらしている、というすばらしい地域だと思います。自分が住んでいる新潟市にはない、自然のみりよくがあると、わたしは思っています。

なぜそう思うのか。それは、二年生のころ初めて松之山に来たときです。見たことのない鳥や虫、植物などがいてびっくりしました。以前は、ムシクイ科の仲間のセンダイムシクイという鳥が、一番めずらしい鳥だと思っていました。でも、松之山に来て、アカショウビンというブッポウソウ科の鳥や、ホウジロという鳥が見られて感動しました。

どうして、松之山に来たのか。それは、十日町市立里山科学館越後松之山「森の学校キョロロ」さんとの出会いで、松之山に来ました。そこでみりよくをもう一つ見つけましたそれは、虫がたくさんいることです。なぜそう思ったのかというと、二〇二〇年十二月二十六日に見つかった、新種「キョロロコケヒメガガンボ」がいたり、二〇〇五年に見つかった「マツノヤマヒメコケムシ」などのめずらしい生き物がいたりします。また、「アゲハチョウ」のような、皆さんがよく知っている虫もたくさんいます。このようなみりよくで、わたしは松之山のとりこになりました。

わたしは、雪里りゅう学を通して、「松之山の自然は、十年後も二十年後も続けられるよう、自然を守って、自然を大切にすべきだ」と思っています。そのために、わたしは松之山を知らない人に自然の大切さを教え、今どうなっているのかや、松之山のいいところを伝えていきたいです。

* 8年S・Aさんの主張は、「わたしの主張 十日町・中魚沼地区大会」後の学校だよりで紹介します。

6月15日(土)・16日(日) 中越陸上大会

スポーツ部の生徒が、中越地区陸上競技大会に参加しました。当日は、長岡市が全国一の暑さを記録する猛暑の中での大会でしたが、選手たちはこれまでの練習の成果を発揮し競技に参加しました。その結果自己ベストを出した生徒が多かったです。

翌週、生徒たちは職員室に、「残念ながら県大会出場を果たすことはできませんでした。」と結果報告にきました。それに対し、副学園長から、「みなさんが毎日努力し、練習に励んできたことはまつのやま学園の仲間や職員が一番よく知っています。結果ではなく、記録を伸ばそうとしてきたみなさんの取組の過程を評価します。」と労いました。この先苦しいこともあるかと思いますが、この言葉通り、これからも自己と向き合い仲間と心身を高め合って楽しんでほしいと思います。



6月20日（木）第1回まつのやま学園運営協議会

前半は、本年度のまつのやま学園の学校経営方針等について協議や承認が行われました。

後半は、「家庭教育充実部会」「学園教育充実部会」「学園づくり部会」に分かれ、教育活動等に対する熟議や意見交換がされました。コロナ禍で、自粛していた活動から、今後の地域の児童生徒数も見据えながら今後どのように活動していったらよいのか活発な意見が交わされました。

児童生徒が成長し続けられる学園のために、今後も、保護者、地域の皆様からご協力いただけると幸いです。本会の会議録を学園のホームページにアップしました。ご覧ください。

本年度の委員は以下の方々です。よろしくお願いいたします。



（敬称略）

会長	志 賀 義 雄	委員	佐 藤 和 子
副会長	小 野 塚 和 生	委員	大 見 慶 介
委員	樋 口 一 次	委員	柳 隆 子
委員	村 山 暁	委員	佐 藤 知 浩
委員	草 村 慶 子	委員	田 邊 孝 一
委員	小 野 塚 建 治	委員	寺 澤 隆 志
委員	佐 藤 功	委員	渡 邊 進
委員	相 澤 き よ え		

8・9月の主な行事等の予定

【8月】 2日（金） SJ期 質問教室 5日（月） 平和教育広島市派遣（～7日） ＊中学部2名派遣 7日（水） SJ期 質問教室	9日（金） SJ期 質問教室 わたしの主張郡市大会 13日（火） 学校無人化（～19日） 22日（木） 中学部授業日（～28日） 29日（木） 2学期始業式
【9月】 5日（木） 学校生活アンケート 7日（土） 郡市発明工夫模型展（～9日） 12日（木） S期 宿泊研修（～13日） 学校生活アンケート 17日（火） SJ期 お弁当の日③ まつのやまいきいき週間 （～23日）	18日（水） 2-5限フリー参観 19日（木） 学校生活アンケート 25日（水） 小体連郡市親善陸上大会 26日（木） 中体連新人陸上大会 9年学習の確認テスト 学校生活アンケート 30日（月） 中学部郡市科学研究発表会

